

成長と社会課題の解決を支える投資拡大に向けて

令和4年6月2日

総合科学技術・イノベーション会議議員

藤井 輝夫

○人材育成・分配について

新しい資本主義の実現を加速するためには、挑戦的なイノベーションやスタートアップの担い手となる「人的資本」の充実とタレントの発揮が鍵となる。そのための重要な取組としては、初等中等教育段階からの STEAM 教育、高校・学部教育段階の文理横断教育、産学協働でのアントレプレナーシップ教育、社会人のためのリカレント教育・リスキリング、学びのジェンダーバイアス解消を含むダイバーシティやインクルージョンを自分事として考える教育などが考えられる。オンラインやバーチャル空間も活用しながら、場所などに制約されずに受講できるようにするなど、これらの教育のための体制強化に向けた投資を拡大する必要がある。グローバルな共同と包摂がより一層求められる現在、我が国が世界に掲げる、だれもが多様な能力や個性を活かして活躍できる包摂的な社会 (Society 5.0) の実現を目指す上でも、こうした取り組みは極めて重要である。

○スタートアップについて

イノベーションやスタートアップを担う学生・若手研究者の多くは大学に在籍して活動している。いま、起業に挑もうとするこうした若い人材の大多数は、社会を良くしようとする意欲を持ち、社会課題の解決に自ら積極的に関わろうとしている。こうした人材の活躍は、経済成長だけでなく、社会全体の幸福度の増進をもたらさう。これを促すためには、まず、創業経験者・投資家や様々な資源を持つ専門家・事業会社が新たに起業家教育に参画し、若い起業家の自由な挑戦と成長に肩を貸す産学協働文化の醸成、及び NPO や大学など非営利セクターの成長マインドの促進に社会全体で取り組む必要がある。同時に、地域エコシステムの中核となる優れた研究拠点の形成、公益性の高い事業を発展的に行うことを可能とする「パブリック・ベネフィット・コーポレーション」のような組織フォーマットの導入、女性の起業支援やジェンダード・イノベーションへの研究支援などの政策を強化すべきである。